

ガス厨房設備・器具の品目追加等の検討

グリルとグリドルについて

グリル付きこんろ



※グリル

直火によって主として放射熱で調理する機器
主たる調理メニュー…魚焼き

グリドル付きこんろ



※グリドル

直火によって加熱したプレートによって、主として伝導熱で調理する機器
主たる調理メニュー…魚焼き、肉料理 他

改正JISの規格に適合したガスグリドル付きこんろが市場に多数流通することが予想される。このため、省令別表に当該製品を追加することについて検討する。

餃子焼き器、たこ焼き器等もグリドルの一種であるが、これらはJIS等による規格の統一が図られていないため、製品種別に応じ一律の離隔距離を省令別表で定めることは困難である。このような設備・機器は使用温度に応じた離隔距離(省令別表)か、製品ごとに試験を行い(告示による試験で)離隔距離を定めている。

改正JISの概要

改正JISでは、新たに示したグリドル付こんろに、現在のJISで規定するグリル付こんろと同等の性能を要求している。

JISで規定する主な項目(○は共通規定)

項 目	グリドル付こんろ	グリル付こんろ
ガス消費量※	14kW以下	14kW以下
ガス通路の気密	○	○
燃焼状態	○	○
温度上昇	○	○
耐熱衝撃	○	○
安全装置	○	○
反復使用	○	○
耐振動性能	○	○
グリドルの使用性能	○	—
グリルの使用性能	—	○

※現行の省令別表では、14kW以下のグリル付こんろを適用範囲としており、JISの適用範囲と整合が図られている。

検討の論点

消防関係法令において、以下に示す位置・構造・管理などに係る規定がなされているが、グリドル付こんろは、現在のグリル付こんろと同等の規定で支障ないのではないか。
ただし、経済産業省令(参考資料1-7)で義務付けられている安全装置装着義務はこんろ部の調理油過熱防止装置等に限られており、また、JISによらない製品の流通も想定されることから、可燃物等までの離隔距離については別途、検証を行うこととする。

現行の規制概要

位置	<ul style="list-style-type: none">・建築物等及び可燃物の物品から、火災予防上安全な距離(以下、離隔距離という。)を保つこと・可燃物が落下し、又は接触するおそれのない位置に設けること・可燃性のガス又は蒸気が発生し、又は滞留するおそれのない位置に設けること・燃烧に必要な空気を取り入れることができ、かつ、有効な換気を行うことができる位置に設けること・屋内に設ける場合にあつては、土間又は不燃材料のうち金属以外のもので造った床上に設けること
構造	<ul style="list-style-type: none">・使用に際し火災の発生のおそれのある部分を不燃材料で造ること・地震その他の振動又は衝撃により容易に転倒し、亀裂し、又は破損しない構造とすること・表面温度が過度に上昇しない構造とすること・多量の未燃ガスが滞留せず、かつ、点火及び燃烧の状態が確認できる構造とすること・必要に応じ安全装置を設けること
管理	<ul style="list-style-type: none">・周囲は、常に、整理及び清掃に努めるとともに、燃料その他の可燃物をみだりに放置しないこと・必要な点検及び整備を行い、火災予防上有効に保持すること

離隔距離の検証

目的: 離隔距離においても、グリル付きこんろと同等の規定で良いか検証する。

離隔距離の検証は、消防庁告示に基づき実施する。

告示の概要

- ・以下のうち、いずれか長い距離とする。
 - 1 通常燃焼時又は異常燃焼で安全装置を有しない場合は、可燃物の表面温度が許容最高温度(100℃)を超えない距離又は当該可燃物に引火しない距離のうち、いずれか長い距離
 - 2 異常燃焼(温度制御装置等が異常となった場合)時、可燃物の表面温度が許容最高温度(ガス機器は135℃、電気機器は150℃)を超えない距離又は当該可燃物に引火しない距離のうち、いずれか長い距離
- ・基準周囲温度35℃(但し、試験時の温度が基準周囲温度未満の場合は、補正する。)

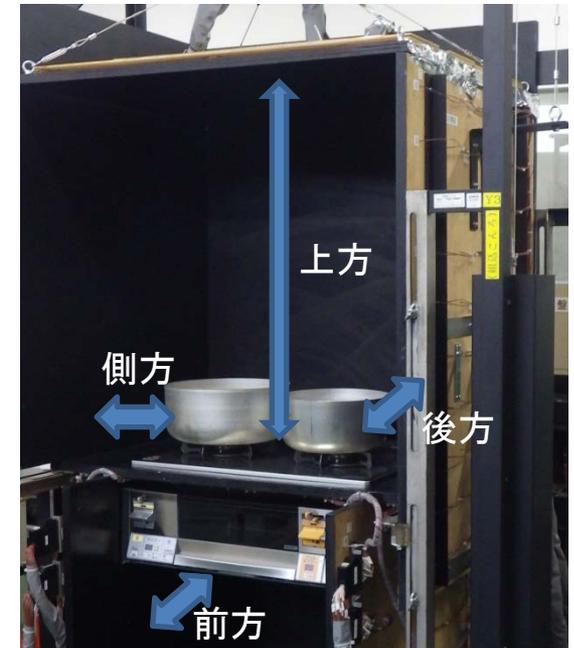
実施細目

- ・使用する機器は、ガス消費量14kWとする。(JISに準拠)
 - ・各種安全装置を取り除いた機器で試験をおこなう。
 - ・機器を最大燃焼状態に設定し、機器本体の後面、側面及び上方天井面に設置した熱電対により、表面温度の測定(表面仕上が不燃以外の場合)をおこなう。
- ※表面仕上が不燃の場合は、不燃仕上材の裏面の温度を測定する。

判定基準

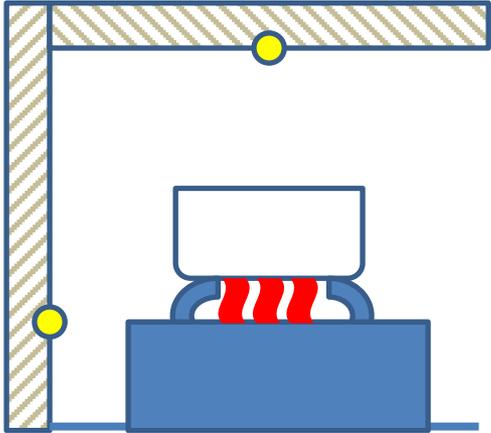
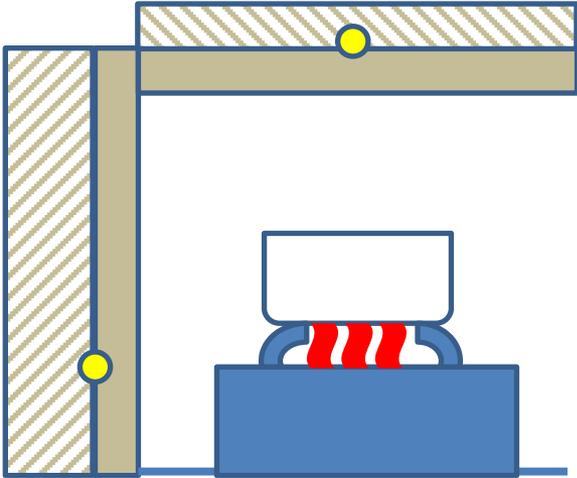
- ・グリル付きこんろと同等の離隔距離(下表)の場合に、測定温度が告示で定める許容最高温度である100℃以下であること。

表面仕上	上方	側方	前方	後方
不燃	80cm	0	—	0
不燃以外	100cm	15cm	15cm	15cm



イメージ写真

温度測定箇所について

表面仕上が「不燃以外」の場合	表面仕上が「不燃」の場合
	 <p data-bbox="1012 1025 1843 1062">※不燃仕上材の裏面(可燃物との接点)で温度測定)</p>

● : 温度測定点

▨ : 不燃以外

■ : 不燃